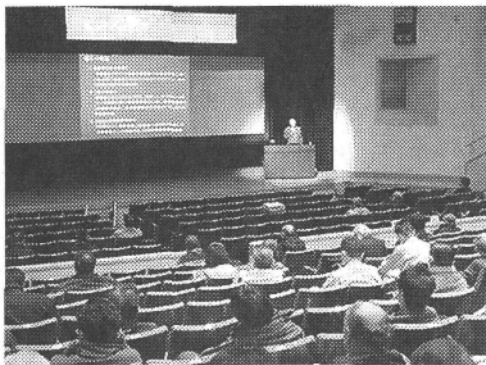


環境・防災・維持
管理で技術研修会

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕理
理事長)は8日、佐賀県唐津市
の唐津市文化体育館文化ホ
ールで、2023年度(第31回)
「環境と防災と維持管理技術」
研修会を開いた。写真。発注
機関、建設コンサルタンツ、
建設会社の技術者ら約150
人が参加した。



原理事長は「ミラクルソル
工法でグリーン社会への構
築」をテーマにした講演で、
能登半島地震が発生した土砂
災害の9割近くが土砂災害特
別警戒区域(レッドゾーン)だ
ったことを踏まえて「事前防
災の必要性を突き付けた」と
述べ、盛り土地帯の被害軽減
に有効なFWG盛り土造成と
排水工法などを説明した。環
境分野では、SAGAサンラ
イズパークで行った地下水を
利用するFWG透保水性舗装
工法の実証実験や、藻場再生
に向けた「海のグリーンイン
フラ」の取り組みを紹介した。
このほか、サンスイ・ナビ
コの和田亮営業開発部主任と
堀江靖九州営業所長、ミラク

ルソル協会の荒木宏之顧問、
砂防フロンティア整備推進機
構の今井一之理事が講演し
た。水と土と緑の環境を創出
するミラクルソル、SSL・
Fixrグラウンドアンカー
の工法を取り上げたパネルデ
ィスカッションも行った。
CPDS(継続学習制度)
・CPD(継続能力開発)認
定講習で、佐賀県ジオファイ
バー協会、佐賀県ニューレス
ブ協会、SSLアンカー協会
が共催した。